

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

7 年 6 月 24 日

都道府県知事

内堀 雅雄 殿

提出者

住 所 福島県白河市白坂三輪台 1 5 番地 1

氏 名 株式会社秋山建材
代表取締役秋山浩治

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

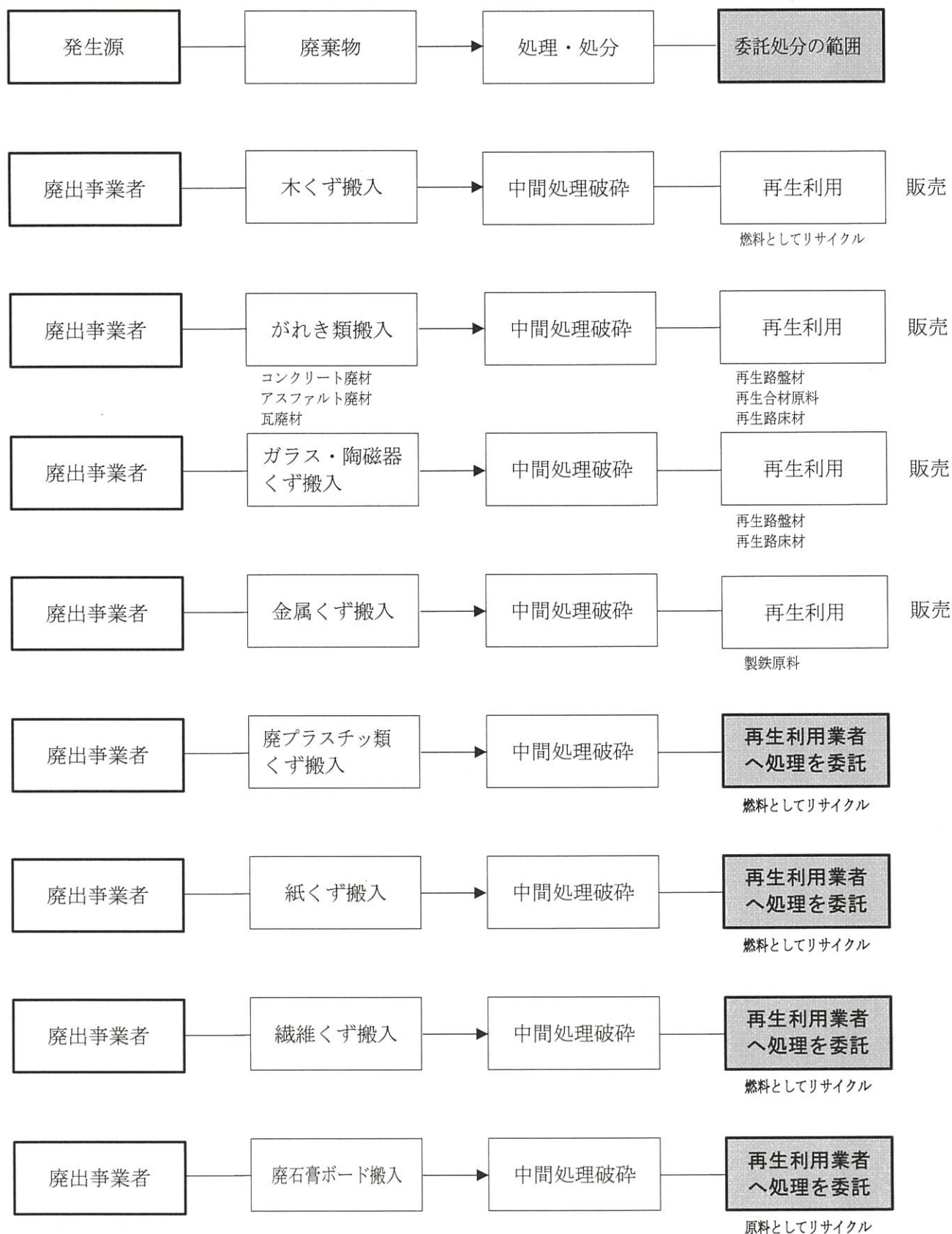
電話番号 0248-29-8880

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

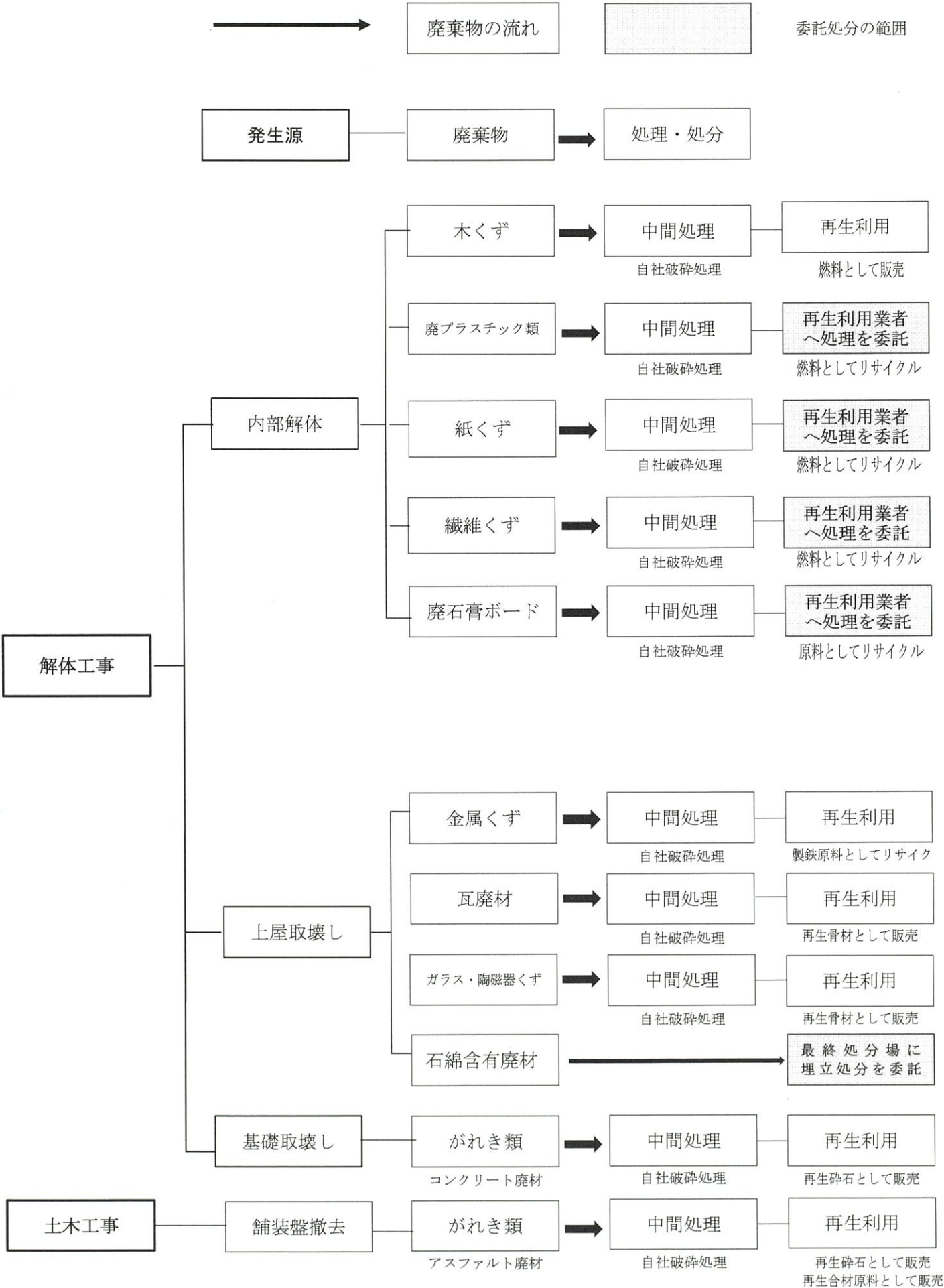
事業場の名称	株式会社秋山建材
事業場の所在地	福島県白河市白坂三輪台 1 5 番地 1
計画期間	令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	識別工事業、産業廃棄物処理業
② 事業の規模	建設業、完成工事高 ¥640,000,000
③ 従業員数	16 名（役員を含む）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙処理工程表のとおり。

（日本産業規格 A列4番）

別紙処理工程表 (株)秋山建材 (再生プラント) No. 2

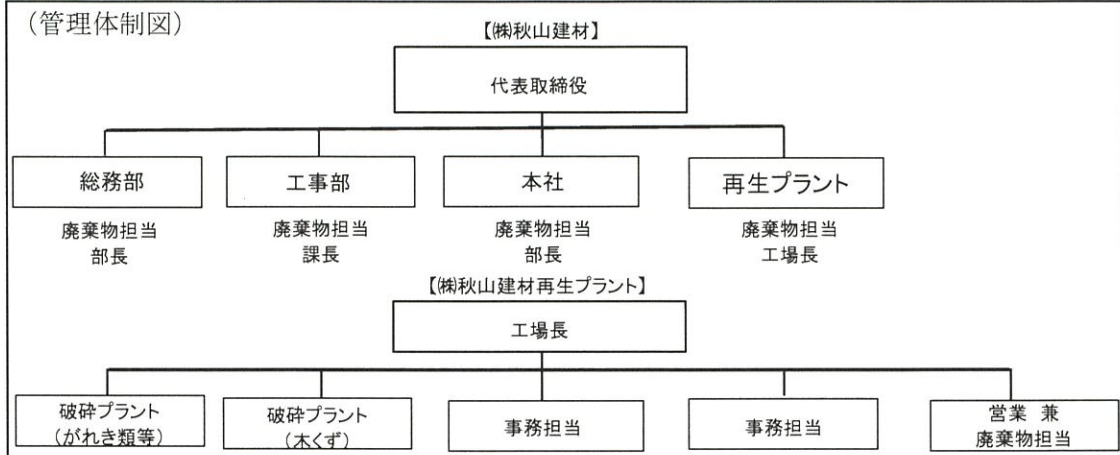


別紙処理工程表(株)秋山建材（本社） No. 1



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート廃材	
	排出量	1,818.64 t	
	(これまでに実施した取組) 分別解体及び異物除去。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート廃材	
	排出量	1,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 解体現場における各廃材を、種類ごとに集積保管及び搬出。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類等の分別解体の徹底。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類（有筋コンクリート）から、金属くず（有価物）を分別して搬出。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート廃材	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,818.64 t	
	（これまでに実施した取組） 公共事業及び民間工事縮減により、発生材は減少傾向にあるが、100%再生利用できるため、再生砕石等に利用し循環型社会に対応。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート廃材	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,000 t	
	（今後実施する予定の取組） 処理工程を見直し、選別作業等の効率よいラインに切り替え、品質の向上に取り組む。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	（これまでに実施した取組）		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	木くず	
	排出量_	19.11 t	t
	(これまでに実施した取組) 分別解体及び異物除去。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	木くず	
	排出量_	10.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 解体工事現場における各廃材を、種類ごとに集積保管及び搬出。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類等の分別解体の徹底。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 自社処理施設において、再生木材（燃料チップ）として出荷できるよう、異物の完全除去。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

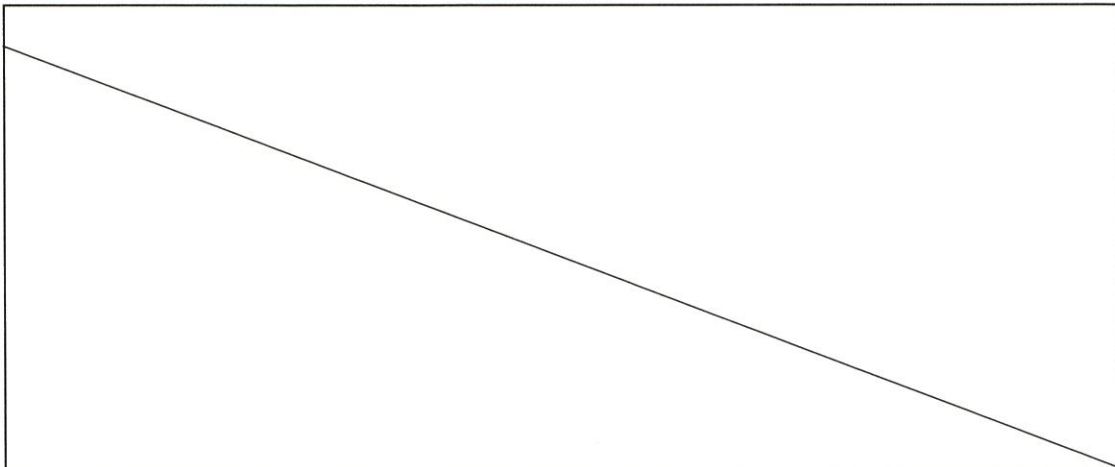
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	19.11 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	19.11 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	バイオマス発電の燃料として委託。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	10.0 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	10.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用先の拡大。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず
	排出量	1.91 t	2.35 t
	(これまでに実施した取組) 分別解体及び異物除去。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず
	排出量	1.0 t	2.0 t
	(今後実施する予定の取組) 解体工事現場における各廃材を、種類ごとに集積保管及び搬出。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類等の分別解体の徹底。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 自社処理施設において、再生材（路盤材、路床材）として出荷できるよう、異物の完全除去。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1.91 t	2.35 t
	（これまでに実施した取組） 公共事業及び民間工事縮減により、発生材は減少傾向にあるが、100%再生利用できるため、再生砕石等に利用し循環型社会に対応。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	ガラス陶磁器くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1.0 t	2.0 t
	（今後実施する予定の取組） 処理工程を見直し、選別作業等の効率よいラインに切り替え、品質の向上に取り組む。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	繊維くず
	排 出 量_	9.15 t	1.10 t
	(これまでに実施した取組) 分別解体及び異物除去。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	廃プラスチック類	繊維くず
	排 出 量_	9.0 t	1.0 t
	(今後実施する予定の取組) 解体工事現場における各廃材を、種類ごとに集積保管搬出。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、がれき類等の分別解体の徹底。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類及び繊維くずを、マテリアルリサイクル及びサーマルリサイクル向けに分別。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	繊維くず
	全処理委託量	9.15 t	1.10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	9.15 t	1.10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	発電所及び製錬所用燃料として処理を委託。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	繊維くず
	全 処 理 委 託 量	9.0 t	1.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	9.0 t	1.0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用先の拡大。		
※事務処理欄			